

# 放課後等デイサービス キッズボンドEX市原 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3			適切な訓練室の広さがある。また、利用児童に合わせ、訓練室や学習室等を使い分けている。
	②	職員の配置数は適切であるか	3			適切な職員配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2		施設入り口や学習室に段差があり、バリアフリーには課題があるが、児童に合わせて対応していく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3			PDCAサイクルを用い、日々改善している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3			保護者向け評価アンケートを行い、ご意見を業務改善に繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3			ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3			職員の資質向上のために研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			アセスメントや、送迎時の聞き取り等でニーズを把握し、支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3			職員が話し合いプログラムを立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			子どもの特性に合わせて、新たな活動も取り入れている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3			課題を話し合い、適切に支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			子どもの特性に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせ計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			始業時に打合せを行い、役割り分担等の確認をしている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3			支援後に必要な振り返りを行い、気付きを共有している。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3			個別記録を毎日記入し、支援の検証改善に活用している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3			定期的にモニタリングを行い、サービス計画を見直している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3			ガイドラインにのっとり支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3			参画している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3			適切に行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2		該当する児童がいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3			情報共有や相互理解に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3			障害者福祉への移行は、まだ該当者はいないが、今後適切に行っていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3			他の機関との連携を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3			児童館や公園に行っている。障がいのない子どもとの交流の機会は少ないため、今後検討していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3			参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			送迎時や電話等で状況を伝え、発達状況や課題について共通理解を持てるように努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1		送迎時や電話等で相談に応じている。ペアレントトレーニング等の支援は、今後の課題である。
保護者への説	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			契約時等に丁寧に行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			送迎時や電話を用い適切に行っている。

明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3		保護者会を開催し、情報共有の機会を設けている。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3		苦情について受け付ける窓口を設けており、苦情があった場合は迅速かつ適切に対応している。
非常時等の対応	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		SNSを通しその都度情報を発信している。毎月の予定や通信を配布している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	3		個人情報に関わる書類は鍵付きの棚で適切に管理している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3		伝わりやすい言葉選びを心がけ、意思疎通を図っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	今後の課題である。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3		マニュアルを作成し、定期的に訓練・周知を実施している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3		マニュアルを作成し訓練を定期的に行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3		研修を行う等適切に対応している。
④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3		身体拘束を必要とする児童はいないが、重要事項説明書に記載し、契約時に説明を行っている。	
④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		保護者と情報を共有している。	
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		報告書の回覧やミーティングなどで情報共有を行っている。	